

プログラム

第1日目 11月12日(土)

10:00～12:00 研修セミナー

座長：広瀬 宏之（横須賀市療育相談センター）

虐待に苦しむ子どもと家族のために、子どもの治療者・支援者 ができること

講師：木下 直俊（兵庫県中央こども家庭センター 医療参事）

12:15～13:05 ランチョンセミナー1

座長：齋藤 伸治（名古屋市立大学大学院 医学研究科 新生児・小児医学分野）

子どもの睡眠と生活習慣、身体活動—コロナ禍の子どもの睡眠—

講師：石崎 優子（関西医科大学総合医療センター 小児科 教授）

共催：ノーベルファーマ株式会社 ／ 株式会社メディパルホールディングス

13:15～13:25 開会挨拶

13:30～14:35 基調講演

座長：宮地 泰士（名古屋市西部地域療育センター）

近年の生活様式変化による乳幼児の発達への影響

講師：鷲見 聰（金城学院大学 看護学部 医療関連研究開発部門）

14:45～15:45 一般演題A「家族支援」5演題

座長：永田 雅子（名古屋大学 心の発達支援研究実践センター）

福原 里美（里童こころと育ちのクリニック）

A-1 家族に寄り添う子どもへの支援について

東海林 則子

ひまわり心理社会相談室

A-2 家族の心理アセスメントを簡便に詳細に行う描画法の活用 —ワルテッグ・テストによる家族の心理アセスメント—

村上 貢

村上カウンセリングオフィス

A-3 児童精神科病棟の入院治療による養育者のレジリエンスの変化について

長 由利子, 吉田 理歩, 岡本 和子, 吉村 往, 藤田 梓, 山村 淳一

天竜病院 児童精神科

A-4 小児科クリニック発達外来における親と子の関係性の支援介入(1)：子どもと大人の絆を深めるプログラム (CARETM) 導入の報告

山田 理恵, 占部 のぞみ, 藤本 伸治

つつじが丘こどもクリニック

A-5 小児科クリニック発達外来における親と子の関係性の支援介入(2)：親子相互交流療法 (PCIT) の導入の試み

占部 のぞみ, 山田 理恵, 藤本 伸治

つつじが丘こどもクリニック

15:50～16:40 一般演題B 「自閉スペクトラム症」 5演題

座長：明翫 光宜（中京大学 心理学部 心理学科）
今枝 正行（名古屋市北部地域療育センター）

**B-1 WISC-Vによる自閉スペクトラム症児53例の特徴
—「視空間」と「流動性推理」に着目して—**

大西 彩奈, 河村 雄一

ファミリーメンタルクリニック

**B-2 学齢期児童のロールシャッハ反応における認知的特徴
—ASD児と極低出生体重児に着目して—**

鶴田 裕子, 三谷 真優, 永田 雅子

名古屋大学 心の発達支援研究実践センター

B-3 自閉スペクトラム症児の当院外来受診状況の変化

下里 明日香, 武内 温子, 大橋 圭, 福原 里美, 浅井 朋子, 今枝 正行

名古屋市立大学病院 小児科

B-4 自閉スペクトラム症児を対象とした入院による小学校入学前体験プログラムの意義

野村 香代^{1,2)}, 永井 幸代²⁾

1) 岐阜聖徳学園大学 教育学部

2) 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院

B-5 「言葉の遅れ」のある幼児が自閉スペクトラム症と診断される確率－ペイズ統計手法による試算－

塩川 宏郷

実践女子大学 生活科学部

16:45～17:45 一般演題 C 「調査・研究」 6 演題

座長：古莊 純一（青山学院大学 教育人間科学部 教育学科）
石田 悠（東京医科大学 八王子医療センター 小児科）

C-1 コロナ禍における子どもの適応状況に関する教師と保護者の認識の違いについての検討

横山 佳奈, 野邑 健二

名古屋大学 心の発達支援研究実践センター

**C-2 発達早期の微細運動技能と6歳の社会技能
～浜松母と子の出生コホート研究 (HBC Study)～**

後藤 聰子¹⁾, 土屋 賢治^{1,2)}

1) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科

2) 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

**C-3 自己の知覚の抑制と心の理論の関連
—幼児期を対象とした検討—**

吉田 翔子¹⁾, 永田 雅子²⁾

1) 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科

2) 名古屋大学 心の発達支援研究実践センター

C-4 超早産児のアイコンタクトに関する検討

三谷 真優¹⁾, 吉田 翔子^{2,3)}, 黒田 美保⁴⁾, 永田 雅子^{1,5)}

1) 名古屋大学 心の発達支援研究実践センター

2) 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 精神科

3) 名古屋大学 教育発達科学研究科

4) 帝京大学 文学部

5) 名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター

C-5 極低出生体重児における「心の理論」の検討

万代 ツルエ, 山崎 知克

浜松市子どものこころの診療所

C-6 当院の未就学児の初診時主訴とアセスメント療育評価の結果

高井 義文, 福原 里美

里童こころと育ちのクリニック

17:45~17:50 **1日目閉会挨拶**

プログラム

第2日目 11月13日(日)

8:55～9:00 **2日目開会挨拶**

9:00～10:50 **シンポジウム**

コロナ禍がもたらす子どもの心と発達への影響と支援

座長：山崎 知克（浜松市子どものこころの診療所）
広瀬 宏之（横須賀市療育相談センター）

日本におけるコロナ禍による子どもの心理発達面での影響

講師：山崎 知克（浜松市子どものこころの診療所）

コロナ禍による神経発達症児への心理発達面での影響

講師：大橋 圭（名古屋市立大学大学院 医学研究科 新生児・小児医学分野）

米国における新型コロナウイルスパンデミックによる子どもの心理発達面への影響

講師：水野 賀史（福井大学 子どものこころの発達研究センター 情動認知発達研究部門）

11:00～12:00 **一般演題 D 「臨床・症例報告」 6 演題**

座長：杵屋 二郎（東京医科大学病院 子どものこころ診療部門）
小石 誠二（川崎こども心理ケアセンターかなで／かなで診療所）

D-1 STP 解離の病理と治療：TS プロトコールの臨床的応用

杉山 登志郎^{1,2)}, 山田 智子³⁾, 若山 和樹⁴⁾, 篠崎 志美⁵⁾

- 1) 浜松市子どものこころの診療所
- 2) 福井大学 子どものこころの発達研究センター
- 3) 総合心療センターひなが
- 4) 名古屋掖済会病院
- 5) 福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

D-2 発達障害に生じた DID の研究その 1, 大きなトラウマの既往無く DID を生じる症例の検討

若山 和樹¹⁾, 杉山 登志郎²⁾, 篠崎 志美³⁾

- 1) 名古屋掖済会病院
- 2) 福井大学 子どものこころの発達研究センター
- 3) 福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

D-3 心的外傷後ストレス障害から回復過程にある3歳女児の描画の変化

三原 大輔

上毛病院

D-4 精神病発症危険状態 at risk mental state (ARMS) と考えられた思春期の3症例

永井 幸代¹⁾, 水谷 優子²⁾, 滝藤 明日香³⁾, 井口 敏之⁴⁾

1) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科

2) 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 小児科

3) 名古屋市立大学病院 小児科

4) 星ヶ丘マタニティ病院 小児科

D-5 長期フォローアップを行った自閉スペクトラム症の一例 －症状の多様性に注目して－

小林 繁一

静岡県立こども病院 発達小児科

D-6 境界知能児の支援について

古荘 純一¹⁾, 飯島 健志²⁾

1) 青山学院大学 教育人間科学部

2) 飯島医院

12:15～13:05 ランチョンセミナー2

座長：金生 由紀子（東京大学大学院医学系研究科 こころの発達医学分野 准教授）

神経発達症の支援～環境の重要性と心理社会的治療を中心に～

講師：飯田 順三（医療法人南風会 万葉クリニック子どものこころセンター絆 センター長）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

13:15～13:25 第129回大会長挨拶

小石 誠二（川崎こども心理ケアセンターかなで／かなで診療所）

13:30～14:05 厚生労働省研究班報告

座長：辻井 正次（中京大学 現代社会学部）

療育手帳の判定基準の全国統一化にむけて～実態と課題～

講師：村山 恭朗（金沢大学 人間社会研究域 人間科学系）

14:15～15:20 **特別講演**

座長：小林 穂高（名張市立病院 小児科）

**学校現場にどう関わるか、何ができるか？
～子どもも教師も楽しい学校生活を送れる支援として～**

講師：井口 敏之（星ヶ丘マタニティ病院 小児科、日本小児心身医学会学校保健委員）

15:25～15:55 **大会長講演**

座長：浅井 朋子（名古屋市立大学病院 小児科）

療育現場から見た現代の子どもの育ちと発達

講師：宮地 泰士（名古屋市西部地域療育センター）

15:55～16:00 **閉会挨拶**